

新常盤研究会 第一回研究会 メモ

日時：2007.02.03（土）9:30～12:00

場所：丸ビル 10F 一ツ橋会議室

出席者：常盤先生、片平先生、古川先生

有馬(CATWALK)、池田(アサヒビール)、今田(日経 BP)、臼井(臼井農産)、宇野(NTTドコモ)、古城(ホンダ)、砂田(朝日新聞)、瀬野(東急総合研究所)、平井(ザ・マネジメント)、松崎(ノリツ)、松永(NEC)、松山(日本ものづくり学会)、丸山

【ビデオ#1】 プロフェッショナル仕事の流儀：「りんごは愛で育てる」（農家：木村秋則）

- ・ 主人公はりんごの木
- ・ 効率よりも大切なもの
- ・ 愛こそすべて
「育てない」極意：“手助けするだけ”
- ・ 不可能を可能にした壮絶な8年間
「主人公はりんご」という信念：人工的にりんごを育てるのではなく、りんごが本来持っている生命力を引き出し、育ちやすい環境を整えること
- ・ 技術だけ教えてもうまく行かない
心がなければ続かない
スプレーの「効率」⇔りんご、土に良くない
- ・ 答えはりんごに聞け
手間を惜しんだ手抜きすれば結果に現れる
「技術」は心が先に伴ってから後からついてくる
- ・ プロフェッショナルとは？
⇒ 『技術も心も一緒に伴った人が、プロじゃないでしょうか』

【常盤先生】

- ・ 「技術の前に心がある」（＝病気は「治す」ではなく「治る」）：システムを整えてやること
⇒これからの勉強の出発点
- ・ 人の生き様、仕事とはこういうこと
不可能を可能に挑戦すること ←（対極）→ 金儲け／効率／時間短縮／…
りんご→モノ、木→人（従業員）
- ・ 遠野物語：日本人の大切なもの・生きる姿 ← 見直そう／考え直そう

【ビデオ#2】 その時歴史が動いた：日本を発見した日本人～柳田國男・「遠野物語」誕生～

- ・ 農政官僚として、西洋化だけではダメ、国を変えるためには国を知らないダメ
普通に生きている日本人の尊さ
- ・ 山の人々との出会い
暮らしの質の高さ、精神性、自然に対する畏敬の念人が生きている生活のリアリティ実感
・ 焼き畑農業：“昔からの知恵”（山間部の環境に基づく）

- ・しし狩り：独特の作法としきたり：単なる獲物ではなく山の神からの授かりモノ
「のさらん福は願い申さん」余計なものまで取り過ぎない：自然との共生
- ・民話：伝承が息づいている。人々が積み重ねた営み・歴史、伝統的な生活文化
今まで通ってきた路を知ること…即ち「反省」
- ・日本民族学
精神の根底＝伝承
現在は柳田が抱いた危機感より更に危機：コスト至上主義、安いモノが勝ち→画一化
アイデンティティ・故郷が大切な時代
時代とともに日のあたる対象は変化するが、日のあたらない対象も大切

【常盤先生】

- ・「この書、外国に在る人におくる」
元気よくやっている人～生き抜いている
- ・大企業のあり方
利益/コスト/株価/企業価値/…（といったものから）→？（もっと大切なもの）
⇒“気がつかなかった光”提供できればよい
- ・本とか現場から
企業／仕事／人 → どうして企業に集まるのか
How to、What を超えた哲学
踏みならされた道ではなく、森の中に入っていくという思いで
- ・合理性、生産性（を追い求めるあまり）→良いお友達を排除 →いなくなってしまう
色々な生き方がある →探っていく →しっかりとしたモノの見方
- ・“モノゴトを感じる力”が大切
柳田の「椰子の実→伊良湖岬→日本の海上の路」：ちょっとした情報から
- ・お金ばかり考えた仕事で良いのか
日経新聞の三井物産広告「良い仕事とは何か」：欧米化傾き過ぎを反省（の兆し）
トンネル工事に関わる若い人の仕事感：夢の実現、生きる証、好奇心、…
- ・勉強会は実践の場
 - ・企業訪問
 - ・輪読：各々、自分の仕事の観点から解釈
例えば、「良い仕事の思想」（中公新書）

【片平先生】

- ・ どのような問題意識
 - ・ 現場
 - ・ 日本人
 - ・ 我々の感受性を磨く（仕事、本物をつくる）
- ・ 研究会の目指すもの
 - ・ 日々の仕事に繋げる
 - ・ 持って帰るばかりではダメ
 - ・ 現場の香り（会で得たものを現場に適用した事実を会に F/B)

- ・ やり方
 - ・ 企業訪問（実り多くするために予備調査）
 - ・ 輪読
 - ・ 問題提起（リーダー持ち回り 20 分くらい）
- ・ 提案して欲しい。参加者は手を挙げて発信（こんなことに困っているとか）
2 名／回× 5 分／人程度で（手を挙げた順に）
- ・ 柳田國男の 100 の質問 ←こういうものを作りたい
良い“問い”を持つ

【古川先生】

- ・ 「心と技術」心が先
- ・ 研究会の記録を残す：後から引き出せる共有財産+新しい“気づき”
→フォーム決め、各自記録する

【運営形態】

全員参加、ワークショップ型の運営（必ず出席）

頻度：1 / 3W 程度（#2：3/3、#3：3/31、#4：4/24）

【見学先（案）】

京都／石川・富山／名古屋周辺／燕三条／東大阪

（良いところがあれば提案すること）

【次回】

3 月 3 日（土）10～12 時、丸ビル 10F 一ツ橋会議室

内容：自己紹介、関心事 5 分／人（どんなビジュアルサポートも OK）